

主催

協同組合
日本映画・テレビ美術監督協会



お問い合わせ

月～金 13:00～17:30

(協) 日本映画・テレビ美術監督協会
[映画スタッフ塾] 実行委員会事務局

〒160-0011
東京都新宿区新宿
2-15-14
パンチョスタワー 2F

TEL&FAX : 03-3353-4660

E-MAIL : info@addj.or.jp

Website : <https://www.apdj.or.jp>



於：調布市文化会館たづくり

〒182-0026
東京都調布市小島町 2-33-1

会場案内図



相馬直樹 × 小川富美夫 × 福澤勝広 × 成田裕介

映画美術展

下タツ

第24期 PART2

2024.11.28 (木) ~ 12.1 (日)

全日程：5,000円 一日：1,500円 於：調布市文化会館たづくり



助成：文化庁
Agency for Cultural Affairs
Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金 [舞台芸術等総合支援事業 (芸術家等人材育成)]
独立行政法人 日本芸術文化振興会

第24期 映画美術スタッフ塾 PART2 2024/11/28(木)～12/1(日)

主催: 協同組合 日本映画・テレビ美術監督協会 

参加費: 全日程: 5,000円 1日: 1,500円

於: 調布市文化会館 たづくり

* お問い合わせ・資料請求

〒182-0026 調布市小島町 2-33-1

 協同組合 日本映画・テレビ美術監督協会 A.P.D.J

「映画美術スタッフ塾」実行委員会事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-15-14 パンチョスタワー 2F

受付: 月～金 13:00～17:30

TEL&FAX: 03-3353-4660 E-Mail: info@apdj.or.jp

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

<http://www.apdj.or.jp>



* 参加のお申し込みは当協会のホームページの申し込み書式に必要事項をご記入の上ご送付お願いします。

* 当日参加に関しましては、協会までお問い合わせください。

◆ 11/28 (木) 9:00 受付開始 講師: 相馬直樹 (美術監督)

『耳をすませば』 2022年10月公開 115分

提供: (株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

監督・脚本: 平山雄一郎

原作: 終あおい

撮影: 中山光一 (U.S.C) 照明: 藤井 勇

美術: 相馬直樹 (A.P.D.J) 装飾: 田中 宏 (S.D.S.J)

出演: 清野菜名、松坂桃李、山田裕貴、内田理央

安原琉那、中川 翼

アニメ映画を再現した「あの頃」とオリジナルストーリーの「10年後」で描かれている。

新型コロナウイルス感染症拡大により海外への渡航及び撮影が困難となったため、撮影は神戸市、イタリアのシーンは和歌山県のポルトヨーロッパで撮影された。

月島雫は、図書館貸し出しカードでよく名前を見かけていた天沢聖司と最悪の出会いを果たす。しかし雫は聖司に大きな夢があることを知り、次第に彼に惹かれていく。聖司は夢を叶えるためイタリアに渡ることになる。

2人は離ればなれになるが、それぞれの夢を追い、10年後に再開することを誓い合う。

◆ 11/29 (金) 9:00 受付開始 講師: 小川富美夫 (美術監督)

『おくりびと』 2008年9月公開 130分

提供: 松竹 (株)

監督・脚本: 滝田洋二郎

脚本: 小山薫堂

撮影: 浜田 毅 (U.S.C) 照明: 高屋 斉

美術: 小川富美夫 装飾: 小池直実

出演: 本木雅弘、広末涼子、山崎 努、峰岸 徹

余貴美子、吉行和子

第81回アカデミー賞外国語映画賞、第32回日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞。

プロのチェロ奏者として東京の管弦楽団に職を得た小林大悟。ある日当然、楽団が解散し、夢を諦め、妻の美香と共に田舎に帰ることになる。

就職先を探していた大悟は、新聞で「旅のお手伝い」と書かれた求人広告を見つけ、旅行代理店の求人と思い込み、採用条件にも惹かれた大悟は面接を受ける。社長は「うちでどっぷり働ける?」の質問だけで即「採用」と告げ、名刺まで作らせる。大悟はその業務内容が実は「納棺」と知り困惑するが、強引な社長に押し切られる形で就職することになる。

入社早々、納棺の解説DVDの遺体役をさせられ散々な目に遭う。大悟は仕事の厳しさを知り、それでも少しずつ納棺の仕事に充実感を見だし始めていた。

◆ 11/30 (土) 9:00 受付開始 講師: 福澤勝広 (美術監督)

『鉄道員』(ぼっぼや) 1999年6月公開 112分

提供: (株)東映エージェンシー

監督: 降旗康男

脚本: 岩間芳樹、降旗康男

撮影: 木村大作 (U.S.C) 照明: 渡辺三雄

美術: 福澤勝広 (A.P.D.J) 装飾: 若松孝市 (S.D.S.J)

出演: 高倉 健、大竹しのぶ、広末涼子、吉岡秀隆

安藤政信、志村けん、小林稔侍

第23回日本アカデミー賞において最優秀作品賞含め9つの最優秀賞を受賞。

「男が守り抜いたのは、小さな駅と娘への想い」「一人娘を亡くした日も、愛する妻を亡くした日も、男は駅に立ち続けた……」

主人公の佐藤乙松は、道中にある廃止寸前のローカル線「幌舞線」の終着駅、「幌舞駅」の駅長で、鉄道員一筋に生きてきた彼もまた定年退職の年を迎え、同時に彼が働く幌舞線も路線と共に廃止の時を迎えようとしていた。

彼は生まれたばかりの一人娘を病気で失い、また妻にも先立たれ、孤独な生活を送っていた。

雪の正月、乙松のもとに真っ赤なランドセルを背負った少女が現れ、人形を忘れて帰る。それは乙松に訪れた奇蹟の始まりであった。

◆ 12/1 (日) 9:00 受付開始 講師: 成田裕介 (映画監督) 福澤勝広 (美術監督)

一部『夢ん中』 2018年8月撮影 第18期「映画美術スタッフ塾」

二部『雨に泣いている』 2020年11月撮影 第20期「映画美術スタッフ塾」

三部『今日ふたたび』 2023年8月撮影 第23期「映画美術スタッフ塾」

監督: 成田裕介 (一部、二部、三部)

脚本: 田中貴大 (一部、二部、三部)

撮影: 林 淳一郎 (U.S.C) (一部)

撮影: 藤澤順一 (U.S.C) (二部)

撮影: 佐々木原 保志 (U.S.C) (三部)

照明: 長田達也 (一部、二部)

照明: 吉角 荘介 (三部)

美術: 福澤勝広 (A.P.D.J) (一部)

美術: 齊藤 卓 (A.P.D.J) (二部)

美術: 神田 諭 (A.P.D.J) (三部)

吹雪の北国、宮古。駅近くの路地裏の食堂兼呑み屋。

「あの、もう終わりですか?」と髪や肩に雪を絡ませた杏子が立っている。

店の主人、順子は杏子の中に入れてお茶を出す。杏子は以前、父親と来たことのあるラーメン屋の名前を尋ねるが主人が高齢で亡くなっている話を聞く。

一枚の子供が作った古い「肩たたき券」が親子を繋げる夢に。